


授業の概要					
校種	小学校				
授業日時	2014年6月20日～28日	学年	5	教科	音楽
単元名	いろいろなひびきを味わおう				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌声や楽器が重なり合ういろいろな響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりすることができる。</li> <li>・音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きのバランスに気を付けながら、音の組み合わせを工夫して演奏することができる。</li> </ul>				
単元の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①既習曲を歌う。</li> <li>②旋律の重なり方の特徴を捉え、表現を工夫する。</li> <li>③全体の構成を考えて歌う。</li> <li>④「リボンのおどり」の曲全体をつかみ、各パートの特徴をつかむ。</li> <li>⑤へ音譜表の読み方を知る。</li> <li>⑥楽器を選んで演奏する。</li> <li>⑦パートを組み合わせて演奏の工夫を考え、響きの変化を楽しむ。</li> <li>⑧「双頭のわしの旗の下に」と「アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章」の楽器編成の違いを見つける。</li> <li>⑨個別に鑑賞曲を聴き、響きの違いを感じ取り、グループ内の着眼点と同じ子ども同士がペアで話し合う。(本時)</li> <li>⑩他のグループの同じ事を調べた子どもと交流し、お互いの意見をまとめる。(本時)</li> <li>⑪グループに持ち帰って情報を伝え合い、鑑賞曲の音の重なりについて共有する。(本時)</li> </ul>				
本時の目標	・いろいろな音が重なり合うひびきを味わうことができる。				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習				

ICT活用場面	
授業場所	音楽室
ICT機器活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業作り指導員
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用コンテンツ	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input checked="" type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> Note Anytime
タブレット活用形態	<input type="checkbox"/> 一人一台 <input checked="" type="checkbox"/> 学習班に一台
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板に投影することで、視覚的、聴覚的に学習することができる。</li> <li>・一人一人が共有フォルダの鑑賞曲を自分のペースでヘッドホンで聴けることで、集中して聴くことができる。</li> <li>・SKYMENUの活用で、ワークシートを共有、話し合いを深めることができる。</li> <li>・タブレットを活用することで、場所を選ばず鑑賞曲を聴くことができ、数か所に分かれて少人数で落ち着いて話し合いすることができる。</li> </ul>

授業の展開

学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>既習曲「いつでもあの海は」を歌う。</p> <p>本時のめあてをつかむ。</p> <p>「双頭のわしの旗の下に」の楽器の構成について復習をする。</p> <p>電子黒板に提示されている楽器の名前を言う。</p> <p>鑑賞曲の後半部分を聴き、ワークシートに書く。</p> <p>自分が注目して聴くこと(主旋律、伴奏部分、低音部分、打楽器部分)をワークシートに書き込む。</p> <p>グループ内で、同じ部分に注目して聴いている同士で意見をまとめる。</p> <p>他のグループの同じ部分を聴いている子どもと交流する。</p> <p>主旋律、伴奏部分、低音部分、打楽器部分のグループに分かれ、それぞれのワークシートを見せ合い、比較して情報を共有する。</p> <p>自分のグループに交流した情報を持ち帰り、深める。</p> <p>他のグループと共有した情報を、グループ内で発表し、鑑賞曲の音の重なりについて深める。</p> <p>一斉で鑑賞曲を聴き、鑑賞曲の音の重なりについて確認し、自分たちの演奏に活用できるように考える。</p>	<p>※ワークシート記入例</p>  <p>The image shows two examples of student work on a tablet. The top example features handwritten notes in Japanese, including phrases like '曲の盛り上がり' (Musical climax), 'また盛り上がる' (It rises again), and '曲が明るくなる' (The music becomes brighter). It includes a simple diagram with arrows and a small drawing of a person's head. The bottom example shows a colorful waveform diagram with notes like 'はく' (haku) and 'ゆ' (yu), and the text 'さいしにもどった' (Returned to the original state).</p>	<p>楽器紹介の資料を電子黒板に投影することで、視覚的、聴覚的に楽器の特徴を捉えることができる。</p> <p>タブレットで一人一人が自由に鑑賞曲を聴けることで、集中して聴くことができる。</p> <p>SKYMENUの画像比較で、お互いのワークシートを並べ、感じ取ったことを共有でき、話し合いを深めるようにする。</p> <p>タブレットを活用することで、場所を選ばず鑑賞曲を聴くことができ、数か所に分かれて少人数で落ち着いて話し合いができるようにする。</p>